

独立行政法人地域医療機能推進機構相模野病院 第7回地域連絡協議会 議事概要

平成 30 年 7 月 19 日(木)	13:30-14:30	相模野病院7階 講堂
会議の招集者	相模野病院長 野田吉和	
会議の種類	第7回 相模野病院地域連絡協議会	
司会者	相模野病院 事務部長 菊地功	
書記	相模野病院 医事課長 高井晃	
病院側出席者 (敬称略)	院長 野田吉和、副院長 今崎貴生、副院長 今泉弘、事務部長 菊地功(司会) 看護部長 田中敬子、副看護部長 岡野礼子、訪問看護ステーション所長 石川由美、 医事課長 高井晃、主任医療相談員 長塚裕二、地域連携室 菊池紀子	
地域委員出席者 (敬称略)	相模原市医師会長 竹村克二、相模原市病院協会会長 土屋敦 相模原市薬剤師常任理事 菅野宏一、患者代表 高倉正男 相模原市消防局副消防局長 田後秀雄、相模原市社会福祉協議会長 戸塚英明、 相模原市中央地区自治会連合会長 牛尾良一、相模原市大野北地区自治会連合会長 河本博	
病院側欠席者	なし	
地域委員欠席者 (敬称略)	相模原市歯科医師会副会長 寺崎浩也、相模原市薬剤師会長 小川護、市民代表 沼倉孝太 相模原市健康福祉局福祉部長 小林和明、相模原市健康福祉局保健所長 鈴木仁一	

1. 開会挨拶 野田院長

・診療体制について:本年4月より常勤皮膚科医師が入職し、通常診療が再開できました。

小児科、産婦人科の医師の増員はできていないものの診療は変わらず行っています。

今後も引き続き、医師確保に努めていきます。

また当院は、今後も進んでいく少子高齢化の中、地域包括ケアシステムに則って、行政、医師会、病院協会と協力を図りながら急性期医療を行ってまいりますのでよろしくお願いいたします。

・診療待ち時間について:前回の地域連絡協議会でご指摘いただいた外来の「診察順」の件ですが、患者さんによっては受付後に一旦ブースを離れて、呼ばれる頃に戻られるケースがあるようです。そのため順番が前後するようになって見えてしまいます。お待ちの患者さんに不快がないよう説明等を行っています。また、急性期治療が終わり次第、かかりつけ医等の施設に紹介していくよう努めています。

2. 議事

(1) 救急受入れ状況について(資料・グラフ)

* 菊地事務部長

救急車の受入れ件数は、年々少しずつ増えて、昨年度は1600件を超えました。

科別では内科、整形外科、小児科が多くなっています。

今後も、より多くの救急車を受け入れたいと考えますが、医師の働き方改革等で、夜間受け入れの増加は難しい状況となっているため、日中の緊急患者を積極的に受け入れています。

(2) 地域連携状況について(資料・グラフ)

* 菊地事務部長

・紹介率・逆紹介率の推移としては平成28年度から29年度にかけて、双方とも徐々に増加しています。この2点の推進はJCHO本部からも指示が出されているものであり、今後ともご協力をお願いいたします。

・紹介元の地域別推移においては、相模原市が最も多く全体の76.8%となっており、次点では東京都町田市が8%となっています。また、相模原市内の詳細では地元の中央区が66.5%となっています。

・紹介疾患別件数では歯科口腔外科が最も多く、その後、消化器系、妊娠・分娩、呼吸器系と続きます。多くのご紹介、ありがとうございます。

(3) 地域連携セミナー及び市民公開講座について

* 菊地事務部長

・平成29年度は地域連携セミナーを3回開催し延べ120名の近隣医師等の参加がありました。

また、本年度は既に血液内科のセミナーを1回開催しております。

・市民公開講座は一般の市民の皆さんに参加していただく講座ですが、昨年度は春と秋の2回開催し、それぞれ78名、121名と多くの地域の皆さんが参加されました。本年度も5月に春の講座を開催しました。参加者が45名だったため、アンケート結果から参加者数の減少の理由を探しましたが、アンケート結果に大きな差異はなく、講座内容で左右されるものと考えます。次回からはその辺りのリサーチを行い、講座のテーマを決定していこうと思います。

(4) 特定行為研修について（プレゼン資料により説明）

* 田中看護部長

- ・日本の人口構造（少子高齢“多死”社会）と在宅医療の必要性について
- ・特定行為に関わる看護師の必要性と研修制度（保助看法）について
- ・JCHO 全 57 病院中、49 病院が研修機関であり、看護師は自分の病院で働きながら研修を受講できる
- ・現在当院の看護師 5 名が受講中

(5) その他 ～各委員より～

* 高倉患者代表

相模野病院は昭和 35 年から 58 年の長い歴史があって地域からの信頼も高いです。

また、多くの地域連携を行っているので、これからの少子高齢化に対しても、地域の開業医の先生方と協力して、よろしくお願いします。

* 菅野薬剤師会常任理事

薬剤師会では在宅での支援を行っていますが、その中でよく問い合わせをいただくのが、医療行為のことで。薬のことで違い医療のことになるとお答えしづらいことがあります。

看護部長が話された「特定行為研修」を進めていくことは、このような場面も含めて、地域医療の中で様々な業種の負担が減り、また患者さんの QOL の向上につながり良いことだと思います。

* 土屋病院協会長

地域医療支援病院は中央区にはないが、最も充実しているのは相模野病院だと思います。支援病院がない中央区ではいろんな病院が協調、協力していくことが大切です。

また、特定行為については、日頃在宅医療をやっているとナースにやってもらいたいものが出てきます。それには診療報酬上の問題、責任問題などをクリアする必要がありますが、医師会等でも議題に上げて対応していきます。

* 竹村医師会長

今一番気になる点は「働き方改革」の問題です。改革以前に現状でも医師の仕事はセーブされてきています。

特定行為研修もその一環だと思いますが、相模野病院では具体的な対処として何かしていますか？

→（野田院長）エレベーターホールにポスターを貼り「働き方改革」「医師の働く時間は決まっていること」などを患者さん向けに掲示しています。その他、医師の当直明けの対応等検討中です。そのことによって、手術件数に影響が出たりという事はありません。

* 田後副消防局長

平成 29 年度の救急件数は 35873 件で前年を上まっています。本年も上半期で 18169 件となっていて、1 年で 36000 件を超えるペースで増加しています。また、相模野病院は昨年度 1546 人で本年上半期では 681 件となっています。働き方改革等で大変な中、感謝します。

昨年 7 月に相模野病院の【地域連携セミナー】には救命士を招いていただきありがとうございます。医師をはじめ病院職員と直接話す機会を得て、連携の強化を実感することができました。また救命士 2 名の研修も受け入れていただきました。ありがとうございます。

* 戸塚社会福祉協議会長

社会福祉協議会という立場でいつも参加していますが、福祉と医療の接点や連携はなかなか難しいと感じています。その中で一昨年から市内 21 地区毎にコミュニティーソーシャルワーカーを配置して、地域の皆さんのどのようなことに困っているかを把握し、解決に持っていきけるよう取り組んでいます。相談件数では①経済的なもの、②近隣トラブル、③介護の問題となっています。地域で持っている資源の利用と医療機関とコラボして解決に向かってやっていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

*** 牛尾中央地区自治会連合会長**

日頃から地域医療や講座の開催などありがとうございます。

当自治会では、地域内にある「JAXA」を中心とした街づくりの一つとして、宇宙講座を年6回開催しています。テーマは地球・生命・環境となっており、1月には相模野病院の先生にも(生命をテーマに)講師依頼を引き受けただけです。ご協力ありがとうございます。

*** 河本大野北地区自治会連合会長**

大野北地区でも少子高齢化が進んでおり、年々高齢者の数も増えています。高齢者の希望を聞いてみますと、病院に行きたい、かかりたいといったものが多く、病院が待ち時間の改善に取り組んでいるのはありがたいです。また、今後も通院が億劫にならないようコミュニティバスの利用に協力をよろしくお願いします。

3.閉会あいさつ 野田院長

事務連絡

*** 菊地事務部長**

・本日の議事概要(ご芳名含む)は前回同様に病院ホームページに掲載いたします。

・次回の本協議会の開催予定は

平成31年2月21日木曜日 となっております。よろしくお願いします。

また来年度より、7月と2月の第3木曜日と予め決めておくことで皆様の予定が立ちやすいように致します。